

平成21年度一般会計当初予算説明資料

会計課（内線：8502）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）交通規制標識管理システム整備事業	(13,441)	(0)	(13,441)			(13,441)		
トータルコスト	15,098千円（前年度 0千円）							
従事する職員数	正職員：0.20人、非常勤職員：7.00人							
主な業務内容	調査計画の策定、非常勤職員の指導管理、非常勤職員による標識調査・データ入力							
※商工労働部の緊急雇用創出事業で一括計上								
事業内容の説明								
<p>1 事業概要</p> <p>県下に約4万3千本ある交通規制標識について、経年劣化による倒壊事故等を未然に防止するため、標識に固有番号を貼付し、設置情報(写真、位置等)を収集・入力して保守管理を徹底するためのシステムを構築する。「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用により非常勤職員を雇用し、必要な情報と入力作業を行う。</p> <p>2 事業計画等</p> <p>平成21～23年度の3年間で次の業務を実施する。</p> <p>(1) 東部、中部、西部の3地区を各2名一組で警察署を拠点として調査業務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費 11,465千円</li> <li>・雇用創出人数 12名(6名×2半期)</li> </ul> <p>(2) 入力業務</p> <p>調査業務により収集された情報を入力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費 1,976千円(平成22年度以降は1,776千円予定)</li> <li>・雇用創出人数 2名(6名×2半期)</li> </ul> <p>3 システムの効果的活用</p> <p>(1) 現在運用している交通規制台帳管理システムがリース切れとなる平成25年3月末に併せて、規制(議決)情報と標識情報を統合させた新システムを構築し適正な管理を行うことを想定している。</p> <p>(2) 標識の座標情報を通信指令システムに提供し、110番通報者が伝える標識番号から詳細な通報位置を特定し、迅速な事案対応を図ることができる。</p>								